

エンジニアリング・ファシリテーション、 コーチングを活用したリーダーシップ開発

研究内容

エンジニアリング・ファシリテーションとは、技術の場で求められるコミュニケーション能力を修得できる科学理論に基づいた人材育成の手法。人と人の心を繋ぎ敬愛することで心を癒し、指示命令ではなく、自らのモチベーションにより行動を起こし、自らを評価し、成果を継続的に出していけるコミュニケーションスキル。その特徴は戦略的な問いかけとタイプに合わせた承認のスキルを活用することにより人間の潜在的な力や課題解決力を引き出すことにある。

また、コーチングを活用したリーダーシップ開発にも取り組んでいる。個々のリーダーは目の前の相手や所属する組織にふさわしいリーダーのコンピテンシー（成果を上げる行動特性）を見つけ出すことが大切である。コーチングスキルを活用したオリジナル・コンピテンシーを創出して実践し、その効果を明らかにしている。

地域・産学連携の可能性

エンジニアリング・ファシリテーションは、多くの大学・高専・企業での製品開発に活用されただけでなく、日本バリューエンジニアリング協会、福島大学地域創造支援センター産学官連携コンソーシアム、宮城地域産学連携研究会、北陸先端科学技術大学院大学産学官連携自立化促進プログラム、新潟産業創造機構等、産学連携の場でも実践された。さらに仙台南中山市民センター、仙台市社会福祉協議会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会等で地域住民のコミュニケーションスキル育成教育として、地域貢献も果たしてきた。グループのメンバー一人ひとりをリーダーとして育てる組織活性化方法が高く評価されてきた。実践者の感想として「ファシリテーション成功の心理的背景等も体験でき大変参考になった」（「北陸先端科学技術大学院大学産学官連携自立化促進プログラム報告書」より抜粋）

このテーマに関連するSDGs開発目標



ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科 コミュニケーション科学

大石 加奈子 OISHI Kanako

准教授、博士（学術）

URL <https://oishikanako.com>

執筆論文

大石加奈子「コーチングのGROWモデルを活用したリーダーシップ開発」

日本リーダーシップ学会論文集 第2号 pp.15-22 日本リーダーシップ学会 2019年2月



著書「エンジニアリング・ファシリテーション」（森北出版2011.10）は、紀伊国屋書店「2011年工学書ベストフェア」で、2011年に発売された売り上げ良好書（管理工学部門では代表）、2012年日本工学教育協会賞「著作賞」受賞

